平成２３年度

12 月 補 正 予 算 資 料

～ 政策的主要事業等の概要 ～

山・川・海
自然が 人が 元気です
四万十町

平成２３年12月

高知県四万十町
SHIMANTO TOWN

目　　次

【一般会計】

単位：千円

款	項	目	整理No	事業名	補正予算額	説明ページ	別添資料ページ	所管課
2	1	1	1	大正総合支所庁舎耐震改修事業	2,934	1		総務課
		6	2	お試し滞在施設整備事業	2,683			企画課
			3	路線バス車輌購入費補助事業	14,431	2	8	
3	1	2	4	地域支え合い体制づくり補助事業	2,000	3		健康福祉課
4	1	6	5	四万十町地球温暖化対策設備設置補助事業	14,070	4		環境課
7	1	3	6	ホビー館指定管理事業	9,974	5		商工観光課
8	4	1	7	住宅耐震改修補助事業	7,400	6		建設課
9	1	4	8	津波避難対策推進事業	12,000	7	10	総務課
			9	地域津波避難路等整備補助事業	13,140			

資料の見方

新規・継続・拡充の別

- 新 … 本年度からの新規事業
- 継 … 前年度以前からの継続事業
- 拡 … 前年度以前から拡充した事業
- 特 … ここしかできないまちづくり推進特別枠事業の場合

※ 詳しくは平成23年度当初予算説明資料にある「予算説明資料の見方」をご覧ください。

この内容に関するお問い合わせは …

〒786-8501　高知県高岡郡四万十町茂串町3-2

四万十町役場　総務課（財政班）

電　話　0880－22－3111（代表）
Ｆａｘ　0880－22－3123

平成23年度　12月補正予算資料　　（政策的主要事業等の説明資料）

（単位：千円）

会計名	一般会計	款	2	項	1	目	1	目名	一般管理費
事業名	**大正総合支所庁舎耐震改修事業**					**特**	所管課名	総務課（大正地域振興課）	

新・継	予算額	財源内訳				
新		国	県	地方債	その他	一般財源
既決	0					0
12月	2,934					2,934
計	2,934	0	0	0	0	2,934

歳出予算内訳　予算書頁　20 ページ～　20 ページ

節	細節名称（予算書説明欄）	予算額
1	大正総合支所庁舎耐震改修検討委員会委員報酬	75
9	費用弁償	15
13	大正総合支所庁舎耐震改修等基本設計委託料	2,844

○補正目的（理由等）

大正総合支所庁舎は、昭和56年度に建築されてから30年が経過しており、平成21年度に実施した耐震診断の結果（Is値＝0.36）では、耐震目標値（Is値＝0.75）を満足しておらず、耐震補強工事が必要となっている。
このため、平成25年度に工事を行う計画で、本年度中に検討委員会の開催と基本設計を行うもの。

○補正内容（概要）等　　別添資料 頁　なし

耐震改修等基本設計委託料　2,844千円
検討委員会の開催（3回）　90千円

【概要】
・屋上、外壁等の調査
・耐震補強及び改修工事基本設計
・木質化等の調査検討

歳入「特定財源」内訳

全体計画等

23年度・・・基本設計
24年度・・・実施設計
25年度・・・耐震補強及び改修工事

平21以前	平22	平23	平24	平25以降	計
0	0	2,934	5,000	110,000	117,934

総合振興計画の施策大綱別位置付け
5・③　新しい行財政システムの確立

備考欄（根拠法令・条例等）

（単位：千円）

会計名	一般会計	款	2	項	1	目	6	目名	企画費
事業名	**お試し滞在施設整備事業**						所管課名	企画課	

新・継	予算額	財源内訳				
新		国	県	地方債	その他	一般財源
既決	0					0
12月	2,683		1,341			1,342
計	2,683	0	1,341	0	0	1,342

歳出予算内訳　予算書頁　22 ページ～　22 ページ

節	細節名称（予算書説明欄）	予算額
11	消耗品費	165
15	お試し滞在施設整備工事費	2,291
18	お試し滞在施設備品購入費	227

○補正目的（理由等）

本町では、本年度から移住・定住促進に向けて、空き家調査の実施や情報提供、関係機関との連携強化などに取り組んできた。そのなかで、お試し的に滞在（移住）を希望するニーズが高いことから、本事業を実施し、更なる移住促進を目指す。

別添資料 頁　なし

○補正内容（概要）等

次のとおり「旧広井小学校」の教員住宅1棟を改修し、施設整備を図る。

① 消耗品費　165千円
② 本体改修工事費　1,281千円 ｝ 工事請負費計
③ 浄化槽等設置工事費　1,010千円 ｝ 2,291千円
④ 備品購入費（TV・冷蔵庫・洗濯機 など）　227千円

歳入「特定財源」内訳

県	住宅再生お試し滞在施設整備事業費補助金	1,341

全体計画等

本施設整備は、未使用の教員住宅を活用し、平成23年度に十和地区、平成24年度に大正地区で行う計画である。
（窪川地域は、類似施設としてクラインガルテンを位置づけ）

平21以前	平22	平23	平24	平25以降	計
0	0	2,683	3,500	0	6,183

総合振興計画の施策大綱別位置付け
4-②　都市住民との交流の促進

備考欄（根拠法令・条例等）

平成23年度　12月補正予算資料　　（政策的主要事業等の説明資料）

（単位：千円）

会計名	一般会計	款	2	項	1	目	6	目名	企画費
事業名	**路線バス車輌購入費補助事業**						所管課名	企画課	

新・継	予算額	財源内訳					歳出予算内訳		
新		国	県	地方債	その他	一般財源		予算書頁　22　ページ～　22　ページ	
既決	17,100		8,550			8,550	節	細節名称（予算書説明欄）	予算額
12月	14,431		7,215			7,216	19	路線バス車輌購入費補助金	14,431
計	31,531	0	15,765	0	0	15,766			

○補正目的（理由等）

十和地域では、コミュニティバスの導入により生活交通の確保や、地元商店の活性化など一定の効果をあげているが、未だ導入されていない地域があり、コミュニティバスの導入が求められている。また、既存路線の再編についても取り組みの途中であり、早期の見直しが必要である。

このため今回、追加のコミュニティバスを導入することにより、地域内格差の解消と既存路線バスの再編を行い、高齢者等交通弱者の生活のための移動手段を確保するとともに、車両の小型化（29人→15人乗り）を図るもの。

また、あわせて老朽化した路線バスの更新を、計画的に実施する。

○補正内容（概要）等　　別添資料 頁 **8～**

① 路線バスの再編　＊車輌の小型化（29人乗りを15人乗りに更新）
　ハイエースV 15人乗り　1台
　　6,267千円（消費税・諸費用抜き）

② 路線バスの更新　＊老朽化した車輌の更新
　29人乗りバス　1台
　　8,164千円（消費税・諸費用抜き）

歳入「特定財源」内訳		
県	地域の交通維持支援事業費補助金	7,215

全体計画等

＜今後の整備(更新)計画＞
H24：29人乗り×2台、　H25：37人乗り×1台
H26：29人乗り×2台、　H27：38人乗り×1台
H28：38人乗り×1台、　H29：29人乗り×1台

平21以前	平22	平23	平24	平25以降	計
―	11,780	31,531	16,600	53,320	113,231

総合振興計画の施策大綱別位置付け

1-②	環境との調和を考慮した基盤整備・生活環境づくり

備考欄（根拠法令・条例等）

平成23年度　12月補正予算資料　　（政策的主要事業等の説明資料）

（単位：千円）

会計名	一般会計	款	3	項	1	目	2	目名	老人福祉費
事業名	**地域支え合い体制づくり補助事業**						所管課名	健康福祉課（十和町民生活課）	

新・継	予算額	財源内訳				
新		国	県	地方債	その他	一般財源
既決	0					0
12月	2,000		2,000			0
計	2,000	0	2,000	0	0	0

歳出予算内訳

予算書頁　25　ページ～　25　ページ

節	細節名称（予算書説明欄）	予算額
19	地域支え合い体制づくり事業費補助金	2,000

歳入「特定財源」内訳

県	地域支え合い体制づくり事業費補助金	2,000

○補正目的（理由等）

人口が減少し高齢化が進行してきたことや、親族間・地域社会等との交流が希薄しつつあること等により、これまで地域を担ってきた支え合いの力が弱まりつつあり、高齢者・障害者等の社会的弱者が地域で生活し続けられない状況が懸念されている。

このため、四万十町（十和・大正）地域の主に高齢者あるいは家族の安心の構築のために、その拠点を四万十町昭和「JA高知はた営農センター（旧昭和農協）」に開設するための補助金を交付し、地域住民が交流しお互いが支え合うことによって、地域の問題を地域住民自身が発見し、自らが解決できるような小集落活性化を推進する。

○補正内容（概要）等　　別添資料 頁　なし

◆地域支え合い体制づくり事業費補助金　合計 2,000千円

〈内訳〉①拠点整備：トイレ・事務室修繕一式　296千円
備品一式（ｴｱｺﾝ・ｺﾋﾟｰ機等）704千円　小計1,000千円
②地域ネットワークの構築（賃金・需用費等）：　小計1,000千円

全体計画等

〈平成23年度〉
「地域活動の拠点整備及び地域支援ネットワークの構築」事業に対する支援

平21以前	平22	平23	平24	平25以降	計
0	0	2,000	0	0	2,000

総合振興計画の施策大綱別位置付け

2－⑥　高齢者や障害者に優しいまちづくりの推進

備考欄（根拠法令・条例等）

平成23年度　12月補正予算資料　　（政策的主要事業等の説明資料）

（単位：千円）

会計名	一般会計	款	4	項	1	目	6	目名	環境衛生費
事業名	四万十町地球温暖化対策設備設置補助事業	特	所管課名	環境課					

新・継	予算額	財源内訳					歳出予算内訳
新		国	県	地方債	その他	一般財源	予算書頁　29　ページ～　29　ページ
既決	30,000				30,000	0	節 / 細節名称（予算書説明欄） / 予算額
12月	14,070				14,000	70	19 / 四万十町地球温暖化対策設備設置費補助金 / 14,070
計	44,070	0	0	0	44,000	70	

○補正目的（理由等）

エコキュートは若干の減となるが、太陽光発電システムと太陽熱温水器に対する申込が当初予想を大幅に超える見込みとなったため。

歳入「特定財源」内訳

他	過疎地域自立促進産業振興基金繰入金	14,000

○補正内容（概要）等　　別添資料 頁　なし

〈太陽光発電システム〉
最終見込104基－既計上 50基＝今回補正＋54基分
①70千円／1kw×４kw×54基＝15,120千円

〈太陽熱温水器〉
最終見込 43基－既計上 20基＝今回補正＋23基分
②50千円×23基＝1,150千円

〈エコキュート〉
最終見込128基－既計上150基＝今回補正△22基分
③100千円×△22基＝△2,200千円

今回補正額計＝①15,120＋②1,150＋③△2,200＝14,070千円

■補助金額内訳

〈 太陽光発電システム 〉
１ｋｗ当たり70千円／最大４ｋｗ分まで
（限度額280千円）

〈 太 陽 熱 温 水 器 〉
本体価格の５分の１　（限度額 50千円）

〈 エ コ キ ュ ー ト 〉
本体価格の５分の１　（限度額100千円）

全体計画等

平成23年度　44,070千円
平成24～27年度まで　30,000千円／年

	平22	平23	平24	平25以降	計
0	0	44,070	30,000	90,000	164,070

総合振興計画の施策大綱別位置付け

1－①　人と自然が共生する地域づくり

備考欄（根拠法令・条例等）

四万十町地球温暖化対策設備設置費補助金交付要綱

平成23年度　12月補正予算資料　　（政策的主要事業等の説明資料）

（単位：千円）

会計名	一般会計	款	7	項	1	目	3	目名	観光費
事業名	ホビー館指定管理事業					特	所管課名	商工観光課	

新・継	予算額	財源内訳					歳出予算内訳
新		国	県	地方債	その他	一般財源	予算書頁　34　ページ ～　34　ページ
既決	13,404				13,404	0	節　細節名称（予算書説明欄）　予算額
12月	9,974				9,974	0	13　ホビー館指定管理料　9,974
計	23,378	0	0	0	23,378	0	

○目的（趣旨）

当初は来館者数30,000人の見込みで事業実施を計画していたが、予想以上の来館者数により、人件費の増加や消耗品の不足、その他想定していなかった修繕等に係る経費の不足が見込まれるため、基本協定書第８条の規定による協議を行い、指定管理料の追加計上を行うもの。

○補正内容（概要）等　　別添資料 頁　なし

ホビー館指定管理料　9,974千円の追加

〈内訳〉

- ・人件費（職員・パート等）　7,774千円
- ・消耗品（入場者プレゼント用）　2,100千円
- ・修繕料（来館者数増による階段の破損等）　100千円

歳入「特定財源」内訳

他	四万十町ホビー館関連収入金 ※今回補正額計11,370千円のうち	9,974

総合振興計画の施策大綱別位置付け

3－⑦	来訪者にうれしさとやすらぎを満喫してもらえる集客交流産業の振興

備考欄（根拠法令・条例等）

四万十ホビー館条例

全体計画等

※ホビー館関連収入金(入場料)は平成24年度から指定管理者へ

平21以前	平22	平23	平24	平25	計
0	0	23,378	10,800	10,800	44,978

平成23年度　12月補正予算資料　　（政策的主要事業等の説明資料）

（単位：千円）

会計名	一般会計	款	8	項	4	目	1	目名	住宅管理費
事業名	**住宅耐震改修補助事業**						所管課名	建設課	

新・継 拡	予算額	財源内訳 国	県	地方債	その他	一般財源
既決	16,500	2,000	5,025			9,475
12月	7,400	2,400	▲ 2,025			7,025
計	23,900	4,400	3,000	0	0	16,500

○補正目的（理由等）

昭和56年5月31日以前に建築された住宅及び共同住宅の耐震改修設計及び耐震改修への補助を行い、町民の安全を確保する。

本年発生した東日本大震災に伴い改修件数が増加し、また非木造住宅世帯も補助対象となったため、今回木造住宅５棟の追加と、非木造共同住宅１棟を追加拡充するもの。

○補正内容（概要）等　　別添資料 頁 なし

① 非木造住宅耐震改修事業費補助金　1棟×1,500千円＝1,500千円
② 〃　設計費　〃　1棟×　400千円＝　400千円
③ 木造住宅耐震改修事業費補助金　5棟×　900千円＝4,500千円
④ 〃　設計費　〃　5棟×　200千円＝1,000千円
計　7,400千円

※ ①及び③の１棟当りの補助単価には、緊急支援300千円の上乗せ分を含む

歳出予算内訳　予算書頁　37　ページ～　37　ページ

節	細節名称（予算書説明欄）	予算額
19	非木造住宅耐震改修事業費補助金	① 1,500
	〃　設計費　〃	② 400
	木造住宅耐震改修事業費補助金	③ 4,500
	〃　設計費　〃	④ 1,000

歳入「特定財源」内訳

国	社会資本整備総合交付金	2,400
県	木造住宅耐震改修事業費補助金	▲ 2,025

全体計画等

〈平成24年度以降〉
耐震設計費補助　10件
改修事業費補助　10件　計20件／年

平21以前	平22	平23	平24	平25以降	計
0	9,900	23,900	11,000	11,000	55,800

総合振興計画の施策大綱別位置付け

1-④　災害等に備える安全のまちづくり

備考欄（根拠法令・条例等）

四万十町住宅耐震改修促進費補助金交付要綱

平成23年度　12月補正予算資料　　（政策的主要事業等の説明資料）

（単位：千円）

会計名	一般会計	款	9	項	1	目	4	目名	防災費
事業名	**津波避難対策推進事業**						所管課名	総務課(防災対策室)	

新・継	予算額	財源内訳					歳出予算内訳		
新		国	県	地方債	その他	一般財源		予算書頁　39　ページ～　39　ページ	
既決	0					0	節	細節名称（予算書説明欄）	予算額
12月	12,000		8,000			4,000	13	津波避難施設整備設計委託料	12,000
計	12,000	0	8,000	0	0	4,000			

○目的（趣旨）

興津地区において、これまで避難場所に指定していた興津中学校が津波により倒壊の恐れがあるため、新たに避難路及び避難広場の設置が必要となった。

このため、県の津波避難対策推進事業費補助金（補助率2/3以内）を活用し、郷分北部山手に避難路と避難広場を新設するため、本年度に測量設計を行う。

別添資料 頁 **10**

○補正内容（概要）等

津波避難施設整備設計委託料　12,000千円

歳入「特定財源」内訳		
県	津波避難対策推進事業費補助金	8,000

全体計画等

南海地震対策として既存の計画の見直し等に伴う興津・志和地区の避難路と避難広場の整備等

○興津地区避難広場・避難路等整備（142百万円　H23～H26）

○志和地区避難広場・避難路等整備等（2ヵ所　221百万円　H24～H27）

平21以前	平22	平23	平24	平25以降	計
0	0	12,000	51,000	300,000	363,000

総合振興計画の施策大綱別位置付け

1-④　災害等に備える安全のまちづくり

備考欄（根拠法令・条例等）

（単位：千円）

会計名	一般会計	款	9	項	1	目	4	目名	防災費
事業名	**地域津波避難路等整備補助事業**						所管課名	総務課(防災対策室)	

新・継	予算額	財源内訳					歳出予算内訳		
新		国	県	地方債	その他	一般財源		予算書頁　39　ページ～　39　ページ	
既決	0					0	節	細節名称（予算書説明欄）	予算額
12月	13,140					13,140	15	地震津波避難広場施設整備工事費	△ 7,140
計	13,140	0	0	0	0	13,140	19	地域津波避難路等整備事業補助金	13,140

○目的（趣旨）

近い将来必ず発生するといわれている南海地震への対策として、地震発生後の津波から「すぐに逃げる」ために必要な施設整備を早急に行うため、沿岸部の地域住民が自ら行う避難路等の整備に対し支援を行う。

別添資料 頁 なし

○補正内容（概要）等

地域津波避難路等整備事業補助金　13,140千円

〈内訳〉

- 避難路整備　3件　6,000千円
- 避難広場施設等整備　7,140千円 ← 工事費からの組替え分

歳入「特定財源」内訳

全体計画等

南海地震対策として、沿岸部の興津・志和地区に津波から逃れるための地域津波避難路等の整備に対し支援を行い、計画的な施設整備を推進する。

○避難路整備　7件　14,000千円

○関連施設整備　6件　11,140千円

平21以前	平22	平23	平24	平25以降	計
0	0	13,140	6,000	6,000	25,140

総合振興計画の施策大綱別位置付け

1-④　災害等に備える安全のまちづくり

備考欄（根拠法令・条例等）

① 路線バスの再編（コミュニティバス導入事業）

四万十町生活交通再編に関する試験運行(概要)

１．試験運行の目的

十和地域では、コミュニティバスの導入により生活交通の確保や、地元商店の活性化など一定の効果をあげているが、未だ導入されていない地域があり、地域内格差を解消するため、コミュニティバスの導入が求められている。また、既存路線の再編についても取り組みの途中であり、早期の見直しが必要である。

２．試験運行の概要

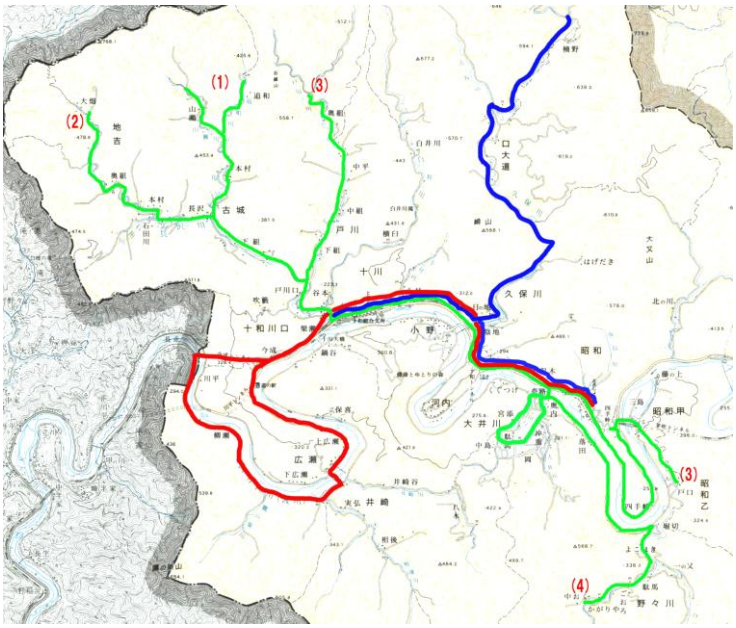
１）実施期間　：　平成２４年３月（４月以降は当初予算で対応）
２）試験運行中の検証内容　：　利用者乗降実態調査、利用者アンケート

３．試験運行の具体的内容

１）運行路線（今回新たに試験運行を開始する路線）

路線名	始　点	経　由	終　点	備　　考
大道線	十和総合支所前	十和診療所	奥大道	
広井線	〃	〃　　・広瀬	井　﨑	

２）路線図（十和地域）



十和地域における
コミュニティバス運行区間

■本格運行中の路線

(1) 古　城　線
(2) 地　吉　線
(3) 戸口・戸川　線
(4) 野々川　線

■今回新たに試験運行を開始する路線

(5) 大　道　線
(6) 広　井　線

３）運行ダイヤ
それぞれ運行曜日を限定し、週１回、頻発運行の試験運行とする。

４）運　賃
試験運行期間中、バス利用者から運賃を徴収しない。
※次年度の本格運行時より、運賃徴収を行う。

５）コミュニティバスの導入による買換え予定車両

初年度登録年月： 平成３年１２月
実走行距離： ７７８，９２２ｋｍ

② 路線バスの更新（老朽化した車輌の更新事業）

【 買換え予定車輌 】

初年度登録年月 ： 平成３年９月
実走行距離： ８２０，６３７ｋｍ

興津地区津波対策避難広場･避難路測量設計位置図